

△ナルラビド錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ヒドモルフォン塩酸塩 Hydromorphone Hydrochloride 【分類】癌疼痛治療剤 [即放型オピオイド]

【単位】△1mg・▼2mg・▼4mg錠

【常用量】■4～24mg/日

■レスキュー：1日量の1/6～1/4

■他剤からの切り替え用量設定はナルサス錠を参照

【用法】■定時投与：1日4～6回

■レスキュー投与：疼痛時に使用

【透析患者への投与方法】排泄遅延を考慮して使用 (1)

【その他の報告】HD患者でも有効で安全に適用できた (Davison SN, et al: J Opioid Manag 4: 335-44, 2008 PMID: 19192761)

【保存期CKD患者への投与方法】排泄遅延のため低用量から開始 (1) 腎機能正常者よりもCcr 40～60mL/minでAUC2倍, Ccr 30mL/min未満でAUC4倍 [即放性製剤] (1) 高用量での消失半減期延長も考慮 (5)

【特徴】

【主な副作用・毒性】依存性, 呼吸抑制, イレウス, 意識障害, 傾眠, 呼吸困難, 消化器症状など, 一般的なオピオイドの作用に注意。

【安全性に関する情報】

【吸収】食事によりAUC1.3倍 (1)

【F】24% [空腹時] (1)

【tmax】1hr以内 (1)

【代謝】グルクロン酸抱合を受ける [3-グルクロニド] (1) 代謝物の活性は極めて低い (1) 一部は3-グルコシド体に変換 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 3% [po, 48hr まで] (1) 尿中に3-グルクロニドとして30%回収 (1)

【CL/F】330～490L/hr (1)

【t1/2】1～2mg投与时5～9hr, 4mg投与时18hr (1) 腎機能正常～中等度腎障害約15hr, 高度腎障害約40hr (Durmin C, et al: Proc West Pharmacol Soc 44: 81-2, 2001 PMID: 11794004)透析患者の非HD時5.9hr, HD時3.2hr, H3Gは非HD時33hr, HD時1.8hr (Davison SN, et al: J Opioid Manag 4: 335-44, 2008 PMID: 19192761)

【蛋白結合率】24～30% (1)

【Vd/F】3300～8700L/body (1)

【MW】

【透析性】透析クリアランス105mL/minでダイアライザを通過する (Perlman R, et al: Pain 154: 2794-800, 2013 PMID: 23973378) グルクロン酸抱合体は透析で良好に除去される (Davison SN, et al: J Opioid Manag 4: 335-44, 2008 PMID: 19192761) ダイアライザは通過するが, Vdが大きいので効率的には除去されないと思われる (5)

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20201228

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。